

人・自然・伝統 与謝野で織りなす 新たな未来

第66号

2022年

11月10日発行



与謝野町

議会だより



主な記事

- ◎決算認定…………… 2P
- ◎一般会計補正予算… 10P
- ◎一般質問…………… 13P

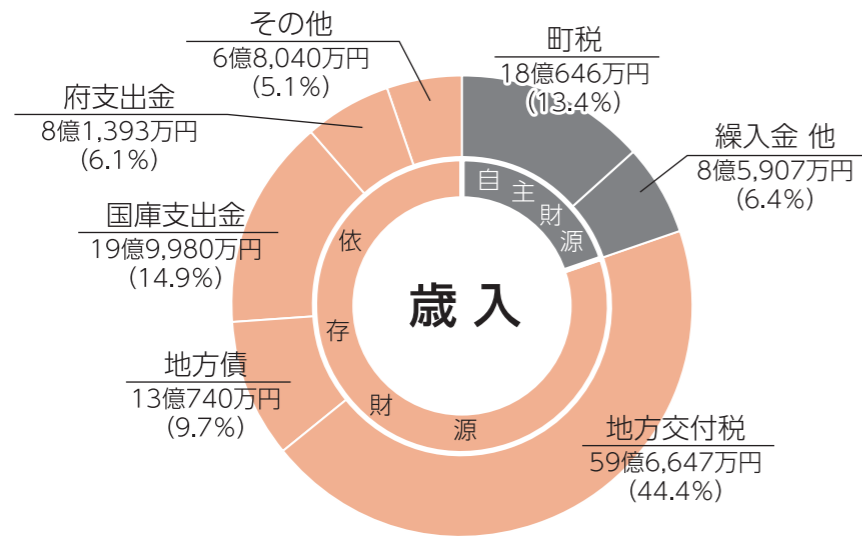
きものでぶらり♪ ちりめん街道 2022

《題字》宮津天橋高等学校加悦谷学舎 / 書道部 2年 谷川莉菜 さん

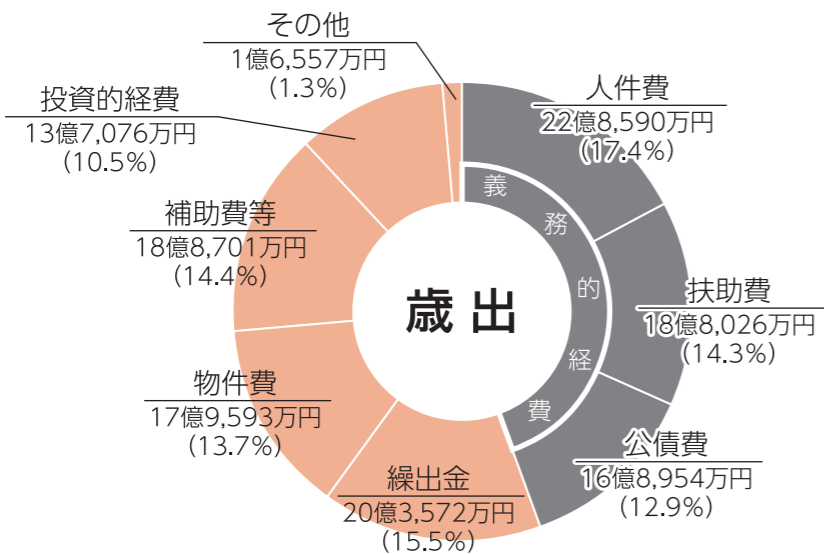
令和3年度決算 財政調整基金取り崩しなし



歳入合計額 134億3,355万円



歳出合計額 131億1,072万円



令和4年度9月定例会

内容説明

9月定例会は、9月1日から9月30日の30日間で開催された。報告2件、人事案件1件、条例改正3件、財産の取得1件、町道路線の廃止と認定が2件、令和4年度補正予算8件、令和3年度決算認定10件、追加議案1件、議員発委による広報常任委員会の設置とそれに伴い広報特別委員会の廃止が提案された。すべての議案は承認、可決及び認定された。一般質問では15人の議員から町政への疑義をただす質問が行われ活発な質疑となった。また、9月定例会は決算認定議会であり、活発な議論が繰り広げられた。

特別会計 決算一覧

会計	歳入	歳出
宅地造成事業会計	0万円	0万円
下水道会計	16億5,379万円	16億5,281万円
農業集落排水会計	3,244万円	3,244万円
介護保険会計	(事業勘定) 29億817万円	28億9,918万円
	(サービス勘定) 1,106万円	1,000万円
土地取得会計	187万円	153万円
国民健康保険会計	(事業勘定) 23億3,024万円	22億9,710万円
	(直診勘定) 8,033万円	8,033万円
後期高齢者医療会計	3億3,974万円	3億3,630万円
財産区会計	2億1,895万円	7,992万円

公営企業会計 (水道事業会計)

項目	収入	支出
収益的収支	8億2,355万円	7億6,000万円
資本的収支	1億9,078万円	4億9,894万円

内容説明

令和3年度は、当初予算において財政調整基金を4億4千500万円繰り入れした厳しい財政状況でのスタートであった。歳入決算額134億3千355万2千円で前年度比11.4%減。歳出決算額131億1千72万5千円、前年度比12.3%減。翌年度に繰越すべき財源3億669万8千円を差し引いた実質収支額は1千612万9千円の黒字で前年度から364万4千円の増額となった。

令和3年度は令和2年度に続き、歳出では新型コロナウイルス対策事業・新型コロナウイルス経済対策事業、加悦地域の認定こども園の開設などに多額の経費が必要となったが、将来負担に備えて、減債基金を8千500万円積み立てた。

歳入においては、町税が約6千500万円の減となったが、減免した固定資産税の補填分として新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金が交付されたことに加え、地方交付税も総額で4億7千388万7千円の増となったため、財政調整基金などの繰入金を前年度比7億4千468万2千円減の1千384万4千円に抑えることができた。

本会議では、14人の議員がそれぞれ提案に対し意見や質疑し、12対2の賛成多数で認定した。

サービス・施設は維持を

野村生八

財政見通しのとおり運営すれば、3年後には財政困難は乗り越えられる。財政余力はある。

財課長 新たな起債を10億円以内に抑えながら他の事務事業の改善等により何とか可能と考える。

財課長 財政を理由に、住民サービスや施設の統廃合をすべきではない。

町長 財政状況とともに、複数の分析をしながら、公共料金、施設の統廃合に繋げていく。

福祉車両の減免拡大

軽自動車税の減免は、なぜ福祉法人だけなのか。公益の活動は、NPO法人など他にもある。対象を拡大すべきだ。

町長 以前の基準と社会背景が変わっている。条文を確認し検討する。

教員の過重勤務の解消

今年度も、深刻な状況は変わっていない。

教育長 教員不足という構造的な問題を抱えている。様々な手立てや工夫をしている。

三河内地区奥山川の対策

奥山川の浸水対策工事が完成した。しかしその後も不安が大きい。引き続き対策が必要だ。

町長 上流の工事が残っているが、川を拡大することは家が隣接しており困難な状況だ。山間部に水の貯留施設を設けることで、水量を抑えていく方法を検討している。

ジェンダー平等

世界では、ジェンダー平等の取組が進んでいる。当町でも取組むべきでは。

町長 男女同権はジェンダー平等に置き換えるべきだったと認識している。今後慎重に進めたい。

ツールとして如何に使うか

山崎良磨

地域経済分析事業は、住民が漠然と感じていたことを図式・明確文化することで、この町の課題をはっきりとさせたという認識でよい。

町長 それも良いことだと思いが、町民に認知してもらい多くの方の意見を聞くことが必要。

商工課長

そのとおり。データとしては素晴らしい物であると感じるが、今後如何にツールとして使うかが課題であると感じる。広

聴事業の必要性がある。産業振興会でも基礎資料として使用する。

町長 それも良いことだと思いが、町民に認知してもらい多くの方の意見を聞くことが必要。

商工課長

考えていき



広聴を

医療費無料化は高校まで

高岡伸明

子どもの医療費に余裕が出ていると聞か

が、いくらでいるのか。

子育課長 令和3年度と2年度の決算の差額が657万3千925円

でいる。町は中学校までの医療費無料化は、近隣の市町に先駆けて実行してきたが、間違いな

いか。

子育課長 与謝野町が先駆けて実行した。それで間違いない。

町長 京都府が補助金を出して

えがある」と聞いているが。

町長 府では、医療費無料化を高校生まで引き上げるか否か委員会で検討している。

町長 高校生までの医療費の無料化を、ぜひ実施していただきたい。

町長 府では高校生までの医療費無料化を検討している。当町からも子どもを育てる保護者まで医療費の無料化を提案している。財源の確保ができれば実行したい。

条例に基づいた協議を

山崎政史

リフレかやの里については引き続き福祉会が今までとおりの運営をするのか、部門を切り離した中で可能な方が条例に基づいた運営をするための協議が

されているのか。

農林課長 生産加工部門は福祉会が、本館部分は民間のノウハウを持つた方のもと障害者雇用を取り入れた運営をしていく意向を尊重した協議。

町長 今後どのようなスケジュールで運営を決めていくのか。

農林課長 持続可能な施設運営のため令和4年度、令和5年度、令和6年度の3年間で検討・協議し、令和7年度にリスタートできるように考える。

町長 条例に基づいた中で何が最善なのかを理解し確認しながら、町設のひとつになるようにしてほしい。

農林課長 条例上の第一の目的は農業振興施設という事を踏まえたうえで検討し、結果として福祉も成り立つような運営が出来ればよいが、農業振興施設という部分を疎かにはできないと考える。

町長 当町のマイナンバーカードの普及率35.83%について担当課の評価は。

町長 全国平均よりも11から12%低く、京都府でも26市町村中23位で上位に持って行かなければならないと考える。

町長 コンビニでの住民票の写しなどが取得できるのはいつになるのか。

住環課長 令和5年度以降の導入を計画している。

目的と行動が合っていない

今井浩介

ICT農業の支援、農産物の高付加価値化に努めた成果は。

農林課長 ICT農業は進まなかったが、豆っこ米は大きな下落はなく差別化できた。

町長 ICT農業は急務だと検証されているが、総合計画も横ばい。今後は、現状の取組を進化させることが重要。施策の進化に努めたい。

町長 高齢化が進む中、若い介護をする方の支援は。

福祉課長 本年、介護保険見直しのアンケートを実施するので、介護する方の声が聞こえてくればと思う。

町長 昨年7月から開始されたファミリーサポートセンター事業委託料270万円に対し、会員数9名、事業実施1回だが。

子育課長 登録会員が増えればと思う。周知徹底はしている。

町長 事業の検証が必要。子育て世帯の声で設立された。制度の趣旨と体制は求められていると思うが、動向を見ながら考える。

町長 SL車両保存の目的は、文化財保存・教育・観光振興だが、活用の検討は進んでいるのか。

町長 具体的な事業は決まっていない。今後模索する。

町長 昨年12月に活用方法は今から考えると答弁された。現在9月でも今から考えると答弁される。事業の取組方針と行動のスタートが逆。

町長 早期に具体的な事業立案に取組む。



一刻も早く無償化を

支えあつた地域協議会設置を

永島洋視

問 庁舎が分散し、行くのみの人が多い。年金にのりが大変、全ての庁舎で上乗せする収入を確保し、高齢者だけでも支えの声がある。共産党議員団は地域協議会の設置を提案する。地域協議会とは、①印鑑証明や住民票は公民館で交付し相談窓口も設ける。②簡単な道水路改修は予算枠を地域に移し優先順位を決定する等行政機能の一部を地域に移す。③地域の草刈りや冬季の生活道路除雪は地域内高齢者の仕事づくりにする。織物従事者が多い丹後は、国民年金



地域力の活用を

環境整備の現況と美化

藤田史郎

問 勤労者総合福祉センター「わくわくばる」の施設管理での任用職員の裁量はどこまでできるのか。
商工課長 施設の事務処理を含む管理業務全般であり、お金が伴う事案については担当課で扱う。
問 施設の外、ソーラーパネル設置部を含む南側一体は雑草や雑木が生い茂っている。施設内容からの展望が悪いので、草樹の手入れの要望がある。
商工課長 状況を確認し、環境整備の美化に取り組んでいきたい。
問 道路維持管理事業での草刈り作業委託料があるが、府道・町道の現況は。
建設課長 町道の草刈り委託料では、延べ201km中約11.9km、6%しか出来ていない状態である。

地方交付税大幅増で黒字に

杉上忠義

問 2年ぶりに実質収支が1千500万円の黒字になった。地方交付税が前年比8.6%増となり黒字決算に寄与しているが。
企財課長 地方交付税の増は大きな要因である。
問 町税は、前年比3.4%減の18億6千万円。税収が多く51年連続交付税不交付の久御山町を検証すると、本町との違いは「法人町民税」が令和3年度で6億9千万円あり安定していること。
税務課長 近隣に大都市がある久御山町との比較は難しい。町内の企業・事業所が努力して納めている税である。
問 町の「地理的条件の弱み」を逆に生かす発想と戦略で企業を誘致しては。
商工課長 府の企業誘致推進会議に参画し誘致活動をを行っている。



気になる今後の交付税・税収

町営バス祝日運行を

安達種雄

問 令和3年度町営バス「自己評価と今後の方向性」に、交通不便地域住民の日常生活に必要な交通手段を確保するため、高齢者の病院、食材の買い物など、利用者から一定の評価。コロナ感染や沿線人口の減少と一人当たりのコストの増加、バスの有償運送、タクシーとの棲み分けなど、物理的な限界の中一定の評価がしてあるが、令和4年は祝日が年間15日のうち11日が連休であり、運行が週1日の時もあった。周辺部で生活されている。独居高齢者が、住み慣れたこの地で暮らし易くなるように希望する。
また、町長が日頃から言っている、社会的弱者が、住み慣れた地で安心して暮らせるように、引き続き制度面、財政面からも支援していく。この言葉にあるように、採算面重視でなく老人に元気な老後を過ごして頂きたいが考えは。
町長 現在、本町の公共交通会議においても、活発に議論している。中山間地域では難しい中、ひまわりバスに取組んでいた。一人暮らしの高齢者においても、買い物や、病院行など移動ができるよう新たな交通手段の検討を進めていきたい。

広報特別委員会が広報常任委員会へ

9月定例会最終日である9月30日に議会運営委員長より、条例改正が発委され、全会一致で可決された。
内容は広報特別委員会を常任委員会化するためのもので、広報常任委員の選任については議長の指名によって議会で選任され、現委員でそのまま構成されることになった。

9月議会 賛否一覧

○印は賛成 ×印は反対
(議長は賛否同数の時のみ態度を表明し、議案の賛否を決定します)

議員名	賛否		宮崎有平	山崎良磨	和田裕之	家城裕功	安達種雄	三田義幸	永島洋視	河邊新太郎	山崎政史	今井浩介	渡邊貫治	浪岡秀明	高岡伸八	野村生八	藤田史郎	杉上忠義	
	賛	反																	
議案																			
令和3年度一般会計歳入歳出決算認定について	12	2																	



今年の敬老会

敬老会のあり方について

和田裕之

問 コロナ禍ということもあり、2カ年実施できなかった。この状況でなかった。この間、私も敬老会について、色々なご意見を頂いている。より一層、良い敬老会にするため、敬老会のあり方、また意見を聞く機会は必要ではないか。
福祉課長 以前のアンケートの中でも、思いに合わない、出かけにくい等の意見も多く、今年度の出欠の手紙でも意見を頂いた。まだ集計中だが、今後のあり方は相談、議論していく必要があると思う。
庁舎内の不審者対応は
問 昨今、全国において殺傷事件も多発している。役場でも不審者対応マニュアルの作成、訓練も実施し、有事の際の職員、来訪者の命を守るため、防犯対策を実施すべきだ。
総務課長 旧町時代からできておらず、この点について反省し進めていく。

令和3年度一般会計決算に対する討論

反対討論

高岡伸明（日本共産党与謝野町議員団）

「黒字決算評価するが」

財政調整基金繰入額ゼロとなり、しかも黒字決算となった。この点は評価したい。地方交付税が3年度に限り増額されたことによるものだ。その一方で全国ニュースになった、未承認抗原検査キット配布では、モラルが問われる対応があった。公共施設統廃合問題では第三者委員会の提言は、白紙に戻すという厳しい指摘があった。町づくりを町民と協働して行うという基本を忘れた対応であるといわざるを得ない。よって一般会計決算に反対を表明して反対討論とする。

賛成討論

和田裕之（よさの21クラブ）

「健全な町政運営を強く希望する」

わが国では円安が進み、日本経済や国民生活におよぶダメージは多大だ。町民の暮らしは、厳しさを増す一方であり、コロナウイルス感染症も追い打ちを掛けている。我々は、次の世代へこの町を引き継ぐ使命と責任があり、この難局を、議会そして官民一体で打開しなければならない。今一度、「何が必要なのか」、「何をすべきなのか」など、しっかりと先を見据え、また見極めに努められ、健全な町政運営が進められる事を、更に、強く希望し、「賛成討論」とする。

財産の取得について

内容説明

- 多機能型消防ポンプ自動車の取得について
4人の議員から質疑があった。全員賛成で原案どおり可決した。
- 1 財産取得 多機能型消防ポンプ自動車 1台
 - 2 取得金額 2千409万円
 - 3 取得方法 指名競争入札
 - 4 契約の相手方 大槻ポンプ工業株式会社

非常識極まりない

家城 功

消防車の購入契約の締結を提案して、購入する車両のシャーシや搭載ポンプ、排気量すら説明できないということに常識では考えられない。入札時には型式指定での入札であり、契約時には決めていない分野もある。契約締結時に中身も決まらないものを買うことが当たり前なのか。どんなものを買うのかを確認してから買うのが当然。認識できないと購入後のチェックすらできない。

副町長 仕様書作成についても研究する。

副町長 入札時には型式指定での入札であり、契約時には決めていない分野もある。

競争が働いていないのでは

永島洋規

平成29年度以降、消防車を3台購入しているが、落札業者は全て同じ。業者は変えるべきだ。入札に指名された5業者も全く同じ。これで競争も働いているのか。副町長 幅広い調査は必要。副町長 前回や消防組合の実績を参考にしたので



消防車購入

令和3年度国保特別会計決算認定

内容説明

主な歳入は、国保税・国府の支出金・町の繰入金等で、その総額は23億3千24万4千419円。
支出総額は22億9千710万1千261円。
実質収支額は、3千314万3千158円である。その内、二分の一の1千657万1千579円は基金に繰入れとなる。質疑の上、全員賛成で可決された。

国保税格差の要因分析を

杉上忠義

国は国保の財政基盤を安定させるため18年度に財政運営の主体を「市町村単位」から「都道府県単位」に移した。この制度の利点は何か。医療費が高く、府北部と南部との医療体制の偏在による医療費水準の格差や所得水準の違い等が国保税の算定に用いられている。府内市町村の20年度の年間平均国保税をみる。

町道路線の認定について

内容説明

岩滝における町道路線の廃止及び認定について、質疑が行なわれ、全員賛成で可決された。

町道路線の認定

渡邊貫治

町道路線の廃止及び認定について、どこ路線か。
建設課長 岩滝の千原線（解谷386番地1先から千原367番地1先）と岩滝の清水谷線（板列798番地4先から板列573番地1先（町道山手線の交差点まで）の、この2路線を府道網野岩滝線まで延長するものがある。
副町長 改めて伺う。駐車場やスケートボード場の要望があるが。
町長 都市機能用地であり今のところ考えていない。
建設課長 板列線の町道の延長は、今のところ考

岩滝ふれあいセンター条例

内容説明

ふれあいセンター条例は、町民のふれあいと福祉の増進を図るため設置された条例である。今回の条例改正は今後の展開を見据え、指定管理者制度への移行のために改正案が上程された。議案は全員賛成で可決された。

利用方法に違いはあるか

高岡伸明

問 指定管理はどのような方法を定めるのか。

答 これまでと利用方法、使用時間、料金等で引き続き社協にお願いする。

福社課長 非公算の形で違いはあるか。

福社課長 大差はない。

問 指定管理料の想定は利用時間、料金は現行をいくらか。

福社課長 建物管理の金を引き継ぐ。



岩滝ふれあいセンター

令和4年度一般会計補正予算第3号

内容説明

歳入歳出予算の総額からそれぞれ1億5千908万5千円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ、118億6千173万4千円とするものである。主に行われた質疑としては、城山テニスコートの設備修繕料やシステム改修等についてであった。複数の議員からの質疑の後に全員賛成で可決された。

一定のメンテナンスを

山崎良磨

問 野田川体育館の電灯交換の費用があるが、この野田川中央施設には他にも修繕が必要な箇所があるという。この中でも園の候補地が白紙となった以上、一定のメンテナンスは必要では。

社教課長 そのように考えている。予算ありきなので、すぐには難しいが、一定の修繕をし管理・運営に務めていきたい。

見積の積算は慎重に

和田裕之

問 城山テニスコート屋外照明改修工事では、当初3千400万円の見込額が、実際は倍近くなるという説明。算出したのは専門業者か灯具メーカーかも疑問だ。水銀灯からLED照明への変更なら、灯柱（鉄柱）の本数や灯数、また高さも低い上、必然的に鉄柱もやり直す（撤去）必要はあきらかだ。見積りが甘いのでは。

社教課長 灯具関係のみで積算し、撤去・復旧工事費、間接経費が入っていないかった。その点、見積りが甘かったと反省する。



現在の城山テニスコート

計画が甘すぎる

家城 功

問 岩滝城山公園テニスコートの照明替え工事に、初期の計画段階から、額と倍近くの差がある。なぜ設計委託をそのまま進めるのか。

社教課長 正確な価格を出すためにも設計は進めたい。

問 一旦中断して再協議の上、しっかりと精査した計画の基で進めるべき。行政職員の金銭感覚には疑問しかない。

町長 計画の段階で甘さがあったことは認める。

町長 一旦計画を中断し改めて精査したうえで理解が得られる説明をして進めていく。

町長 一旦計画を中断し改めて精査したうえで理解が得られる説明をして進めていく。



町民のための施設整備を

委員会・一部事務組合報告

総務文教厚生常任委員会報告

報告者／永島洋視

令和4年8月9日

総務文教厚生常任委員会は委員全員出席のもと、京丹波町への視察研修を実施した。

視察研修事項は

①財政健全化に向けた取組について

②新庁舎建設における総合または分庁舎方式等の検討について

③丹波ひかり小学校コミュニティスクールについて

④ケーブルテレビの民営化について

同じ時期に合併し財政の合併特例が無くなり、与謝野町と同じような財政状況になっていることから、財政健全化の取組。

庁舎については、昨年秋季に新庁舎が竣工したが、

令和4年10月11日(火)、議会でのタブレット導入について、兵庫県多可町へ委員会視察研修を予定。

令和4年度議会懇談会について

開催日時・場所は

10月25日(火)

加悦地域・元気館

10月28日(金)

野田川地域・わーくぱる

11月8日(火)

岩滝地域・知遊館

11月11日(金)

広報特別委員会報告

報告者／河邊新太郎

町村議会・正副委員長研修会報告

令和4年8月5日

京都府自治会館

講師は、一般社団法人自治体広報広聴研究所代表理事の金子茂樹氏であった。講演では、「伝わる議会報の企画と編集―読者を意識した議会広報づくり―」と題して、

①広報広聴の枠組み

②「伝わる」の意味と読者タイプ

③伝わる議会の企画・編集

④議案審議・一般質問見出し

⑤コンクール優秀誌の特徴の5項目について講義を受ける。

その後、金子講師から府内5町村の広報誌のクリニックを通じて指摘や評価を受けた。今回の研修で学んだ事を活かし、住民の皆さまに、読みやすい、分かりやすい紙面づくりに取り組んでいきたい。

宮津与謝消防組合議会

報告者／杉上忠義

令和4年7月29日

宮津市議会議事堂

◎議長の選挙

宮津市議会議員の改選による議長選挙において、徳本良孝氏が選出された。

◎宮津与謝消防組合消防職員の給与に関する条例の一部改正(専決処分)については、全員賛成で承認された。

宮津与謝環境 組合議会

報告者/家城 功

令和4年7月29日
令和4年第2回臨時議会

会議では、4月、5月に行われた与謝野町と宮津市の選挙後の役員改選による組合議会の役職の選任についての。議長には宮津市の河原末彦氏、副議長には与謝野町の山崎良磨氏、議会選出監査委員には伊根町の大谷功氏がそれぞれ選任された。

本会議後に全員協議会が開かれ、①ダイオキシン濃度基準値超過についてのその後の説明②ペットボルの水平リサイクルに関する連携協定の締結の2点について説明を受けた。①については、基準値超過の原因は、ガス冷却水のTOC濃度(水中の有機物全体の炭素の割合)にあり、新たに設置した「活性炭吸着塔」を通して処理することにより、濃度の抑制管理が可能となり、今後については安定し

た運転ができるとのこと。②については、現在一般リサイクルしているペットボトルを水平リサイクル(ペットボトルからペットボトル)する連携協定を神奈川県と締結すること。この件については、本年4月に施行された法律に基づくものであり、賛否についての色々な意見が各議員から出されたが、環境美化につながる結果になるよう期待をする。

与謝野町・宮津市 中学校組合議会

報告者/高岡伸明

令和4年7月27日
令和4年第2回臨時議会

議長に山崎良磨氏、副議長に長本義浩氏、監査委員には、田中眞一氏、宇都宮綾氏が選任された。

令和4年度与謝野町・宮津市中学校組合一般会計補正予算(第1号)が全員賛成で可決された。

Q 男山川の浚渫と網野岩滝線の拡幅を

A 男山川の浚渫は実施、拡幅は粘り強く要望



三田義幸 議員

度実施した箇所の上流についても堆積の著しい箇所においては実施する意向(予定)だと京都府から回答を得ているので早い実施を期待している。

問 網野岩滝線は男山浄水場から大宮町延利までの約700メートル位が長い年月を待ち続けても未だに未着工だが今後の行政側の対応を問う。

町長 京都府に対して「主要地方道網野岩滝線整備促進期成会」を通じて引き続き粘り強く要望する。

問 北部医療センターの近くを流れる男山川は雑草が高く生い茂って居り土砂も積み重なっているのを見栄えが最も悪く、台風等、大雨になると氾濫や冠水・浸水になる可能性が高い。なお、男山区長を始め関係者各位の協力・努力により、昨年の5月から6月に掛けて阿蘇海側にある阿蘇橋から約150メートル位は浚渫工事が終了し綺麗に仕上がったが、男山浄水場までの約850メートル位の雑草と土砂の引き上げをする考えがあるか町長の意見を伺う。

町長 男山川の雑草と土砂の堆積については、令和2年度に引き続き令和3年度にも男山区長より「府民協働型インフラ保全事業」に要望があり、昨年



男山川の浚渫工事を

一般質問

Q こども園内部会議の進捗は

A 7月1日に立ち上げた

問 こども園内部会議の進捗は。

町長 6月定例会終了後の7月1日に「野田川地域こども園検討委員会」を立ち上げた。月1〜2回の協議を進めており、検討結果の回答は、年内を目標としている。

問 どのような編成か。

町長 子育て応援課を事務局とし12名の委員で構成している。現場の声も聴けるように保育士も参画している。

問 公共施設等マネジメント推進委員会に検討結果を提出すると思われが、その際には議会にも提出していただきたい。

町長 そのつもりで考えている。

問 公共施設等マネジメント推進委員会の今後のスケジュールは。

町長 コロナ禍で一度延期にしたが、9月27日に改めて第1回目を開催する予定だ。当初の目安としては終期を今年度末としていたが、終期にとられて議論が疎かになることは避けなければならない意見もあり、時期にこだわらず、できるだけ早いタイミングで答申いただければと考えている。



山崎良磨 議員



初回マネジメント会議の様子

Q ガイドブックは配布済みだが効果なし

A 広報誌で発信の準備中だ

問 各課の一覧表を作り配布する。この質問の答弁は、暮らしのガイドブックで配布済み、であったが。

町長 分かりやすいものを町のホームページと広報誌で発信の準備中だ。待つてもらいたい。

問 ひまわりバスは、3庁舎を往復する余裕はないのか。

町長 法的に難しい。ひまわりバスは、路線バスが運行していない場所で行っている。

問 伊根町では、伊根タクシーがあり、1回200円で、ドアtoドアが目標だそう。当町でもできるのでは。

町長 有料の乗り合いタクシーの実証実験を行いたい。伊根タクシーと、近い取組になる。来年度から取組みた

問 岩屋にある障害者施設の方から、期日前投票は、岩滝庁舎まで行かなくてはならないと聞く。野田川庁舎でできないか。

総務課長 ミスのない投票を心掛けています。そういう観点からご足労願っている。施設のほうで投票できる制度もある。

問 京丹波町では、新庁舎にし、支所を2カ所、すべての手続きができるよう。当町でもできるのでは。

町長 旧町時代からの事務の取り扱いの違いがある。一つの事例として学ぶべき点があるのではと思っている。



高岡伸明 議員



当時の便利帳

Q 見える町づくりを問う

A コロナウイルス対策事業

問 コロナウイルス対策事業として、ソフト事業での対策を行っているが、総額はいくらか。

町長 総額で、1億2千306万5千円使っている。

問 主な内容はどんなことに使ったのか。

町長 コロナ対策として主なものは、子育て世帯臨時特別給付金事業2億8千158万円。住民生活支援商品券事業1億2千250万円。ひとり親世帯生活支援特別給付金事業26万円。その他世帯生活支援特別給付金事業823万円。小学校管理運営事業(スクールバス運行事業) 45万円など。



渡邊貫治 議員

通学路の整備について

問 未就学児や小学生が通学するのに安全対策は十分か。

町長 警察と連携し、未就学児が日常的に移動する経路や児童生徒の通学路を合同で点検し、危険箇所の洗い出しや必要な対策を検討している。

問 縁石の設置やカラー舗装など考えているのか。

町長 園児や通学児童生徒のみならず、町民の皆様方が安心して、安全に通行できる道路環境を創出していく。



当該地

Q すべては子どもたちのために

A より良い方向に議論していきたい

問 来々4月より公立中学校における運動部活動を対象に、学校から地域単位の活動に移行が始まる。休日の運動部活動から段階的に地域移行し、令和7年までの3年間を改革集中期間とし、中学校部活動の地域移行が進むが、当町の計画は。

教育長 京都府が計画をまとめ通知される予定。中学校部活動改革検討委員会を立ち上げ、課題を整理・検討していきたい。

問 指導者の確保は。

教育長 非常に難しい。地域との連携が必要。

問 都心部とは環境が大きく違う。今ある部活、また生徒がやりたい種目も可能か。



今井浩介 議員

教育長 現在の部活動が地域移行する形を考えている。どの部から地域移行するかは今後の検討。

問 ケガや事故、トラブルの責任や対応は。

教育長 休日であっても知らない顔はできない。大変心配している。

問 指導に対する受益者負担や費用発生は。

教育長 当然財政的支援や配慮が必要。



これからの部活を

問 子どもたちと一緒に地域の大人や保護者が協力することが重要。

教育長 今までの学校教育の考え方も大きく変わる。子どもを中心として、どう良い方向にしていこうかということがこれからの課題。

Q 積極的な空家対策を

A 今後も適切な施策を講じる

問 空家が増加し、老朽化による倒壊・不法侵入や不法投棄などの犯罪リスクが全国的な問題になっている。当町の現状は。

町長 平成27年度の調査で585戸の空家が報告されている。今年度、再度調査をし、年内を目途に集計が完了する見込み。

問 固定資産税では住宅が建てられている場合には「住宅用地の特例」が適用され固定資産税が減免されるが、更地の場合は適用されず固定資産税が跳ね上がり、利用予定のない空家は放置され、空家が増加する要因の一つと言われているが、当町でも当てはまるのか。

町長 当町においても当てはまると考えるが、総数の把握や対応については



山崎政史 議員

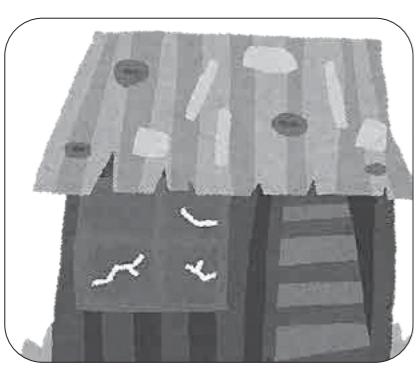
議論できていない。

問 京都市では空家に対する税金を導入し空家の活用を促す課税方式が可決されたが当町での検討は。

町長 京都市の動向を注視しながら、空家の現状や課題、方策について調査研究し判断していく。

問 空家は個人の財産であり、行政の踏み込めない部分も多くあるが安心・安全な住環境の整備のためにも積極的に取り組んでほしい。

町長 空家の問題解決は地域の安心・安全を守るだけでなく移住定住の促進や景観の保全など様々な効果がある。今後も適切な施策を講じていきたい。



早急な対策を

Q 全国先進の協働のまちづくりを

A 取り入れるべき支援のあり方

問 厚労省は2年前から、相談支援、参加支援、地域づくりを一体的に実施し、また予算も交付金を一括交付する「重層的支援体制整備事業」をはじめた。

当町では早くから「協働のまちづくり」を進めており、この事業は有効に取組めると思うが。

町長 本町でも、取り入れるべき支援のあり方だと考えている。

問 地域の連携を進めるための「地域福祉計画」に「重層的支援体制整備事業」を取り入れることが大事だ。

町長 関係者と議論し、必要であれば位置付けていく。

問 課が設置されているところではか相談できない体制から、より住民に近



野村生八 議員

いところで、なんでも受けられる総合相談窓口を作ることが求められる。

これは、今まで共産党議員団が求めてきた「地域協議会」の仕組みで実現できるが。

町長 「重層的支援体制整備事業」に取組むかどうかの議論を行った上で、今後の方向性を見定めていく。関係者と議論を経て最良の相談体制を構築する。

問 協働のまちづくりに、農福連携は重要。リフレはその拠点施設であり、継続すべきでは。

町長 リフレは、与謝野町でも京都北部でも、農福連携の拠点施設。しっかりと継続していく。



協働で暮らしやすい町を



安達種雄 議員

問 天橋立世界遺産登録推進が叫ばれて久しいが、今日まだ具体的に候補地の対象とならないのは地元の盛り上がり不足か。

町長 平成19年に京都府、宮津市、伊根町、与謝野町で暫定リスト入りの提案書を文化庁に提出し、リスト入りはならなかったが、高い評価を頂き、同年発足の地元の民間団体「天橋立を世界遺産にする会」において会員数6千9百人で、世界遺産に向けたシンポジウムやイベントを開催。同じ民間団体「天橋立を守る会」でも松並木の清掃をされて千人を超える多くの参加で地元の熱意を感じられる活動と思う。

特に今年は天橋立保全の契機の名

町長 近年、丹後管内でも熱気球が試験的に実施されており、新たな観光コンテンツとして試みている。熱気球を飛行させるためには、スペースと気象条件が必要で、阿蘇シーサイドを考えた時、風の強い日が多く、ロケーションは良いものの、利用者の安全面からモリスクが多く、費用対効果も低く考えていない。



一字観公園から見た天橋立

問 観光客の増員を図る手だてに、天橋立を空から観下ろす、阿蘇ベイエリアで熱気球の導入を考える計画は。

町長 勝指定」から百年、「特別名勝指定」から70年と記念イヤーであり、より一層のPRを進めておられる。

Q 「天橋立世界遺産」登録の実現は

A 官民連携して進めている



永島洋規 議員

問 6月にレストランが営業停止となり、再開を求める声は多い。この間、町方針はゴロゴロ変わり何が本当か。

町長 リフレかやの里本館の閉館はない。

問 今後について、町・よさのうみ福祉会・地元で協議してきたが、リニューアル工事のため、5・6年度閉館という町資料が配布された。その後その方針が無くなった。理由は。

農林課長 5年度も福祉会運営の可能性が高くなった。

問 指定管理料は年間1千150万円が上限という町方針が、基準に変更。1千150万円を超えることはあり得るのか。

町長 1千150万円を基準とす



現在のリフレ本館

問 だが、指定管理者募集では、上限1千600万円にしていた。その点も考慮を。

問 福祉会が取組んできた運営と、地域づくりを進展させることが、これからの方向だと考えるが、

町長 そのとおり。

問 町の進め方は、町方針に強引に持つていこうとするように思える。町民意見をよく聞き、理事者との間に入って調整努力する職員が信頼される。心をつかむことが出来る職員が求められている。

町長 職員一人一人の能力を最大限引き出すようにしたい。

Q リフレ存続は町民の思い

A リフレの閉館はない

Q ヤングケアラーについて

A 現時点では確認されていない



浪江秀明 議員

問 ヤングケアラーの与謝野町の実態は。

教育長 要保護児童対策地域協議会、通称要対協に係る児童虐待のケースの中では、ヤングケアラーにつながる状況として認められる実態は確認されていない。しかしながら、要対協におけるケースとして、家庭状況が気になる児童生徒の実態が見られるので、今後とも児童生徒の状況を各学校において、注意深く見守っていく必要があると考えている。いずれにしても、与謝野町においてヤングケアラーがいる可能性があることを理解することが重要であると考えている。

問 存在した場合、どのような指導及びケアが考えられるのか。

教育長 学校全体で対象児童に寄り添い、状況を把握したうえで京都府ヤングケアラー総合支援センター等と情報を共有し、連携を図りながら、適切な指導、助言を行い家庭全体の支援に繋がっていききたい。



誰もが学べる環境を

Q 大雨洪水警報での危機管理は

A 気象庁のJアラートと災害警戒本部設置



藤田史郎 議員

問 避難所開設、警戒レベル3以上での独居老人・介護を要する人への誘導や避難介助の仕組はどのように。

町長 本町災害時要援護者避難支援プランに基づき、自治区と連携する。

また、各区隣組の防災会議での共助の力、地域力により災害時の避難行動・要支援に備えて頂く。

問 令和2年12月改定の保存版「与謝野町洪水・土砂災害」ハザードマップを活用し、各自治区毎に図を抽出・縮小版を家庭内に掲示して頂くよう提案する。

町長 大変有効な手段であると認識するが、マップを町内全戸に配布しているので、考えていない。

問 新型コロナウイルスの危機管理

問 感染確認のための抗原検査・PCR検査を受けられる基準及び手続き、場所はどこか。

町長 発熱・咳等の有症状者については、京都府のHPを参照して頂く。

本町内の検査実施事業所はウエルシア薬局与謝野男山店と大西薬局の2カ所。

問 感染拡大の今、コロナウイルス感染危機と捉え、町長メッセージの発信が必要と思うが。

町長 感染防止の広報は府の要請やFM告知などで適時実施している。今後の感染状況を注視し適切に判断していく。



当町のハザードマップ

Q コロナウイルス感染症から町民を守れ

A 憂慮すべき状況、一人ひとり感染予防対策を



和田裕之 議員

問 当町の住民や町職員の累計コロナ感染者数は、2千49人(9月11日現在)となり、全町民の1割以上の方が、感染するという非常事態だ。町長はどのように認識し、今後の対応については。

町長 全国的に第7波と言われる感染急拡大、当町でも7月21日以降、感染者が急増し、大変憂慮すべき状況だと認識している。住民一人ひとりが感染予防対策を引き続き継続されるよう啓発する。

消費税インボイス制度は

問 令和5年10月には、インボイス制度が導入開始をされる。町内の事業者の多くが対象となり、大きな影響が予想される。まずは、この制度を知るこ

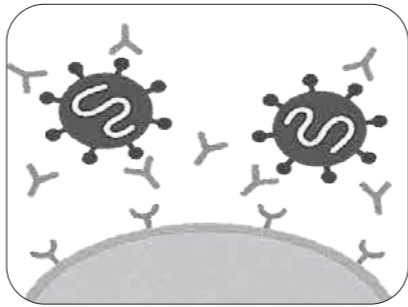
とが最優先だと考える。インボイス制度についての認識や相談体制をどのようにされるか。

町長 商工会や税務署など適切な相談窓口を案内する。議員が懸念されるように地域経済に少なからずダメージがあると想定される。適切な判断をされるよう支援に努める。

クマ被害防止対策を

問 当町でもクマの出没情報が多く寄せられている。人通りが多い場所、民家の側などでも出没しており、人的被害や受傷事故の防止対策が必要だ。

町長 危険な状況の場合、町内放送で周知。必要に応じ職員が現場確認し、府の許可で捕獲を実施している。



感染症予防を

Q 空家の現状と対策は

A 危険と判断した際は三角コーンを設置する

問 2015年自治体を通じて調査を行った結果、空家が町内で585戸ある。その内61戸が廃屋化している。持ち主にアンケートしたところ、親なき後の管理ができず悩んでいるケースが多いことが分かった。相談窓口が設置されているか。

町長 空家の利活用に関する相談は、観光交流課、危険な空き家に関する相談は、総務課で受けている。

問 空家発生に伴う問題で、敷地内での雑草繁茂や倒壊事故、飛散事故、不法投棄、景観阻害等の問題がある。どう対処しているか。

町長 現地を確認し危険と判断した際には、三角コーンの設置を行う等、特に通学路や通行量の多い箇所には、危



廃屋の対策は急務

険告知等の対応をしている。

問 本町の空家バンクへの物件登録並びに成約実績の現状はどのようなになっているか。

町長 平成28年の制度設立から現在までの累計で61件となる。登録物件の約半数が空家バンク制度を利用して町外から移住されている。

災害対策の取組

問 河川整備、山の整備、側溝整備等の現状は。

町長 府が管理している河川、本町が管理している河川、それぞれにおいて鋭意整備を進めている。

Q マニフェストは町民に約束したこと

A 不十分さも感じており議論を重ね実行していく



家城 功 議員

問 マニフェスト・公約は町長が町民に約束したことと認識している。

町長 町長として政策を進めていく上での町民に対し約束したものである。

問 まず、町長はこの公約で一丁目一番地にコロナ関連の支援や対策を掲げているが何をしたのか。

町長 京都府などとの連携を図り検査体制を整えている。町独自には子どもを対象に検査体制の強化を図っている。

問 町民からは不安や不満の声が非常に多い。町独自の取組がもっと充実していれば感染はもっと防げたのでは。

町長 検査体制は府や保健所などの連携が不可欠であるが、町内の拡大は事実であり、更に対策を検討し講じてい

く。

問 国や府に任せ委ねる政策ばかり。町長が約束したことを取組むべき。

町長 引き続き町民に寄り添った対策を進める。

問 また公約には、観光産業も強化するとあるが。

町長 賑わいや魅力を発信して交流人口を増やす。

問 産業としての観光はそんなに甘くない。

町長 議論をしながら着実に進めていく。

問 全てにおいて町民に約束した以上は守る責任、実行する責任がある。夢物語ではダメ。

町長 指摘のとおりである。公約実現に向けて、結果を求める町政運営をする。



杉上忠義 議員

問 コロナ後の観光は、元の状態に戻るのではなく、違う形で量より質で「地域と共生」することで「観光再生」ができる。そして「観光」を「地域経済」の着実な成長につなげることができると考えるが、本町の観光施策を問う。大江山連峰の麓の素晴らしい「自然環境」と「観光」を無理なく「共存」させることのできる「リフレかやの里」一帯を町の観光拠点にすることが重要である。さらに「農福連携」「農商連携」を強化し、地域と行政の力も発揮し、施設を充実していくことが求められているが、町の見解を問う。

町長 当施設は滝・金屋地区を中心とした「農福連携事業」を実施してきた。「障害者総合支援法」の就労支援



より進んだ農福施設へ

による農作物栽培、農産加工等の活動もされてきた。この事業で地域とのつながりを深め「共生社会」を前進させたい。「道の駅」の観光面の機能を充実する計画であり、与謝地域の観光資源と連携強化の中で「リフレかやの里」の魅力化を図っていきたい。

問 リフレは農福連携、地域共生社会の拠点で見本となる施設。観光福祉の分野の取組も必要では。

町長 農福連携の拠点施設。農福を定着、発展させたい。



マニフェスト



まちの宝
子どもページ

かえでこども園の紹介

「いっぱい遊ぼう！感じて、伝えて、つながる笑顔」
～豊かな環境の中でつながりながら夢中になって遊ぶ子どもをめざして～

新型コロナウイルス感染症の流行、また、近年の度重なる自然災害等子ども達を取り巻く未来は予測困難な時代とも言われます。未来をつくっていく子ども達が、予測困難な事へも逞しく柔軟に対応し生き抜くために、園では子ども一人一人を温かく見守り、その子らしさを受け止めながら、子ども主体の保育を心掛けています。そして、友達や様々な人、自然や地域、ものとのつながる喜びや楽しさが感じられる環境づくりに努め、遊びを通して学びに向かう力を育てていきたいと考えます。子ども達自らが選んだ遊びの中で、気付いたり考えたり、協働したり、試行錯誤したり時には葛藤したりする「心ときめく・心動かす経験や体験」その過程こそが、未来を切り開いていく、生きる力の基礎となると考え、大切に見つめ保育を進めていきたいと思えます。



【協同性・言葉による伝え合い・
数量図形への関心】

遊び込む中から友達とつながり、遊びの面白さを共有して伝え合い、数量や図形等への関心や概念も育まれていきます。遊びを通して子ども達は様々なことに気づき、学んでいます。



【健康な心と体・豊かな感性と表現】

五感を働かせ、直接的な経験や体験を通して子ども達は「おもしろそう！」「やってみてみたい！」「もっとやってみてみたい！」という意欲や主体的な気持ちを膨らましています。

【自然との関わり・思考力の芽生え】

生き物や植物等の自然は不思議がいっぱい！子どもたちは興味津々！夢中で探求します。子どもたちにとって自然は大切な友達です。



江陽中学校の紹介

～「つながる」力を伸ばす～

本校では、コミュニケーション能力の向上を目指した取組「Brush Up Our Communication Skills」を進めています。その取組の1つとして「スペシャリストから学ぶ」と題してFM 京都αステーションのラインキャスターを講師として、「伝わるように伝える」ということの大切さや難しさ、また、そのテクニックを体験も交えて教えていただきました。普段、生徒たちが発表する場面でも、言葉を吟味し、「表現」にこだわった内容で自分の思いが伝わるよう意識して活動を行っています。文化祭では有志を募り、保護者の皆様を案内しながら実践を通してかかわりの在り方を学びました。今後も取組を継続していきます。



「Brush Up Our Communication Skills」の様子